

大学番号：私370

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

第一薬科大学 薬学部 漢方薬学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人都築学園
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ジムチョウ 事務長 ウエノマサツグ 上野雅継

電話番号 092-541-0161

（夜間） 092-541-0161

F A X 092-553-5698

e-mail jimutyo@daiichi-cps.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人都築学園

(2) 大学名

第一薬科大学

(3) 大学の位置

〒815-8511

福岡県福岡市南区玉川町22番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツツキ キミコ) 都築 仁子 (平成19年11月)		
学長	(ツツキ キミコ) 都築 仁子 (平成19年11月)		
副学長	(サクラダ ツカサ) 櫻田 司 (平成27年3月)		
学部長	(アラマキ ヒロノリ) 荒牧 弘範 (平成27年3月)		
薬学科長	(イリクラ ツトム) 入倉 充 (平成28年3月)		新規(28)
漢方薬学科長	(イケヤ ユキノブ) 池谷 幸信 (平成28年3月)		新規(28)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度 平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 37	[-] -	
2年次	/	/	
3年次	/	/	
4年次	/	/	
計	[-] (-) 37		

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設ける教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<薬学部 漢方薬学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養選択	文学Ⅰ	1 前		1							兼 1	
	文学Ⅱ	1 後		1							兼 1	
	福祉学Ⅰ	1 前		1							兼 1	
	福祉学Ⅱ	1 後		1							兼 1	
	倫理学Ⅰ	1 前		1							兼 1	
	倫理学Ⅱ	1 後		1							兼 1	
	経済学Ⅰ	1 前		1							兼 1	
	経済学Ⅱ	1 後		1							兼 1	
	法学Ⅰ	1 前		1							兼 1	
	法学Ⅱ	1 後		1							兼 1	
	哲学Ⅰ	1 前		1							兼 1	
	哲学Ⅱ	1 後		1							兼 1	
	英会話Ⅰ	1 前		1					1			
	英会話Ⅱ	1 後		1					1			
	中国語Ⅰ	1 前		1							兼 1	
	中国語Ⅱ	1 後		1							兼 1	
	フランス語Ⅰ	1 前		1							兼 1	
	フランス語Ⅱ	1 後		1							兼 1	
	心理学	1 前	1								兼 1	
	情報処理演習Ⅰ	1 前	1								兼 1	
	情報処理演習Ⅱ	1 後	1								兼 1	
	基礎薬学英語Ⅰ	1 前	1						1			
	基礎薬学英語Ⅱ	1 後	1						1			
	薬学英語	2 前	1						1			
	臨床薬学英語	4 前	1						1			
	基礎物理学	1 前	1								兼 4 兼 1	兼任教員の都合により、専任教授1、兼4でのオムニバスに変更 平成28年4月
	基礎化学Ⅰ	1 前	1							1		
	基礎化学Ⅱ	1 後	1							1		
	基礎生物学	1 後	1								兼 5 兼 1	兼任教員の辞任により、専任講師1、兼5でのオムニバスに変更 平成28年4月
	基礎数学Ⅰ	1 前	1								兼 1	
基礎数学Ⅱ	1 後	1								兼 1		
基礎統計学	2 前	1								兼 1		
文章表現論	1 後	1								兼 1	兼任教員の都合により開講時期を前期に変更 平成28年4月	
プレゼンテーション論	2 前	1								兼 1		
コミュニケーション論	1 前	1								兼 2	兼任講師の都合により開講時期を後期に変更 平成28年4月	
薬学への招待	1 前	0.5								兼 1		
専門教育科目	基本事項	医療概論	1 通	1.5			1					
		生命・医療倫理学	1 後	1							兼 1	
		医療コミュニケーション学	2 前	1							兼 1	
		薬事関係法規・制度	4 前	1.5					1			
		ポスト教育	5~6	1.5			2		1			兼 7
	(薬) 薬学専攻	理論化学	1 後	1.5							兼 1	
	物理化学Ⅰ	2 前	1.5							兼 1		

医療薬学 (臨床)	調剤学	3 後	1.5							兼 1
	事前学習	4 通	4			2	1			兼 7 ※実習
薬学 研究	実務実習 I	4~5	10			8	6	2	2	担当者辞任により専任准教授6、 専任助教1に変更 平成28年4月
	実務実習 II	4~5	10			7	7	2	2	担当者辞任により専任教授7、 専任准教授7、専任助教2 に変更 平成28年4月
薬剤・製剤系	物理薬剤学	3 前	1.5							兼 1
	製剤学 I	3 前	1.5							兼 1
	製剤学 II	3 後	1							兼 1
薬学 研究	卒業研究	4~6	10			3				
	デュケイン大学講師特別講義	1		0.5						兼 1
専門教育科目 アドバンスト科目	本草学	1 前	1			1				
	漢方・民間薬概論	1 後	1			1				
	漢方薬理学	2 前	1			1				
	漢方薬効免疫学	2 後	1			1				
	漢方製剤・薬剤学	3 前	1					1		
	漢方処方学	5 後	1			1				
	臨床漢方治療学	6 前	1							兼 1
	薬学特別講義 I	4 前	2			4	2			兼 11 オムニバス 担当者辞任により 兼 13 専任助教1、兼11に変更 平成28年4月
	薬学特別講義 II	4 前	2			2	1			兼 11 オムニバス
	薬学特別講義 III	4 前	2			2	1			兼 7 オムニバス 担当者辞任により 兼 6 専任教授3、専任助教0、 兼7に変更 平成28年4月
	診療科別治療論	5 後	1.5							兼 10 オムニバス
	処方解析学	6 前	1		1					兼 1
	医薬品開発論	6 前	1		1					兼 1
	地域薬局論	6 前	1		1					兼 1
	臨床物理分析法	6 前	1		1					兼 1
	ターミナルケア論	6 前	1		1					兼 1
	疾患治療特論	6 前	1		1					兼 10 オムニバス 担当者辞任により 兼 9 専任助教0、兼10に変更 平成28年4月
	救急医療概論	6 前	1		1					兼 10 オムニバス
	健康管理学	6 前	1		1				1	
	総合薬学特別講義 I	6 前	1			1	2	1		兼 4 オムニバス 担当者辞任により 兼 5 専任教授1、専任准教授2、専 任助教1、兼4に変更 平成28 年4月
	総合薬学特別講義 II	6 前	1			3				兼 2 オムニバス 担当者辞任により 兼 3 兼2に変更 平成28年4月
	総合薬学特別講義 III	6 前	1				1			兼 6 オムニバス
	総合薬学特別講義 IV	6 前	1				1		1	兼 3 オムニバス 担当者辞任により 兼 2 専任教授1、専任助教0、 兼3に変更 平成28年4月
	総合薬学特別講義 V	6 前	1.5			1	1			兼 4 オムニバス
	総合薬学特別講義 VI	6 前	1							兼 5 オムニバス
	総合薬学特別講義 VII	6 前	1.5			3	1			兼 4 オムニバス
	病院薬学実習	5~6		6		1				兼 1 オムニバス ※演習
薬局薬学実習	5~6		6						兼 2 オムニバス ※演習	
伝統医療薬学実習	5~6		6		2	1			オムニバス ※演習 担当者辞 任により専任教授1、専任准教 授1に変更 平成28年4月	
海外医療研修	5~6		6			2		1	オムニバス ※演習	
学内研修	5~6		6		1				兼 1 オムニバス ※演習	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	第一薬科大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
薬学部										
薬学科	6	113		678	学士(薬学)	1.03	18年度	福岡県福岡市南区玉川町22-1		
漢方薬学科	6	60		360	学士(薬学)	0.61	28年度	同上		
大学の名称	日本薬科大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
薬学部										
薬学科	6	260		1560	学士(薬学)	1.02	23年度	埼玉県北足立郡伊奈町小室10281		
医療ビジネス薬科学科	4	90		360	学士(医療ビジネス薬科学)	0.99	23年度	東京都文京区湯島3-15-1		
大学の名称	神戸医療福祉大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
社会福祉学科	4	200	人	800	学士(社会福祉学)	0.42	25年度	兵庫県神崎郡福崎町高岡1966-5		
健康スポーツコミュニケーション学科	4	100		400	学士(健康福祉学)	0.95	23年度	兵庫県神崎郡福崎町高岡1966-6		
経営福祉ビジネス学科	4	100		400	学士(社会福祉学)	1.19	21年度	大阪府大阪市天王寺区烏ヶ辻2-1-3		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

実専	准教授	城戸 克己 (51)	平成28年4月	薬用資源学 漢方治療論 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅶ 海外医療研修	専	准教授	森永 紀 (42)	平成28年4月	薬用資源学	(教員審査省略) 担当者の変更・平成28年のみ代講
					実専	准教授	城戸 克己 (51)	平成29年4月	薬用資源学 漢方治療論 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅶ 海外医療研修	変更なし
専	准教授	小川 和加野 (47)	平成29年4月	生物系実習 微生物学Ⅱ 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅲ						
専	准教授	小松 生明 (48)	平成29年4月	薬理学実習 薬理学Ⅰ 薬理学Ⅱ 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅴ						
実専	准教授	大光 正男 (49)	平成31年4月	臨床薬学英語 薬事関係法規・制度 ポスト教育 事前学習 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅳ 海外医療研修						
専	講師	栗田 厚司 (65)	平成28年4月	基礎化学Ⅰ 基礎化学Ⅱ						
専	講師	エップ・デ ニース (46)	平成28年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 薬学基礎英語Ⅰ 薬学基礎英語Ⅱ						
専	講師	古賀 和隆 (45)	平成29年4月	基礎実習 化学系実習 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ						
専	講師	香川 正太 (38)	平成29年4月	基礎実習 薬剤学実習 漢方製剤・薬剤学 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ						
専	助教	藤井 由希子 (35)	平成29年4月	基礎実習 物理系実習 健康管理学 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ						
専	助教	古賀 貴之 (32)	平成29年4月	基礎実習 衛生薬学実習 環境衛生学Ⅰ 環境衛生学Ⅱ 実務実習Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅳ 海外医療研修	専	助教	古賀 貴之 (31)	平成29年4月	基礎実習 衛生薬学実習 海外医療研修	担当科目の変更
					専	教授	渡辺 和人 (65)	平成30年4月	環境衛生学Ⅱ 実務実習Ⅰ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅳ	(教員審査省略) 担当者の変更・新規採用(28)
					兼担	准教授	副田 二三夫 (43)	平成29年4月	環境衛生学Ⅰ 実務実習Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅳ	(教員審査省略) 担当者の変更・新規採用(28)
専	助教	飯田 浩子 (47)	平成31年4月	疾患治療特論 実務実習Ⅱ			後任未定		担当者辞任のため 新規採用を計画	
兼担	教授	小川 建志 (70)	平成29年4月	物理系実習 薬局薬学実習			後任未定		担当者辞任のため 新規採用を計画	
兼担	教授	坂戸 道和 (69)	平成28年4月	倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ 哲学Ⅰ 哲学Ⅱ	兼任	講師	渡部 和隆 (28)	平成28年4月	倫理学Ⅰ 倫理学Ⅱ 哲学Ⅰ 哲学Ⅱ	(教員審査省略) 平成28年3月坂戸教授辞任の ため平成28年4月より担当者の 変更(28)
兼担	教授	前田 稔 (70)	平成29年4月	放射化学 臨床物理分析法 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅱ	専	教授	原口 浩一 (63)	平成29年4月	放射化学	(教員審査省略) 平成28年3月前田教授辞任の ため平成29年4月より担当者の 変更(29)
					専	教授	長島 史裕 (54)	平成30年4月	臨床物理分析法 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅱ	(教員審査省略) 平成28年3月前田教授辞任の ため平成30年4月より担当者の 変更(30)
兼担	教授	前田 共秀 (71)	平成31年4月	ポスト教育 事前学習						
兼担	教授	長 普子 (67)	平成29年4月	化学系実習 医薬品化学Ⅰ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅰ						

兼担	准教授	田島 健治 (46)	平成29年4月	物理系実習 物理化学Ⅰ 物理化学Ⅱ 無機化学 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅱ					
兼担	准教授	大脇 裕一 (42)	平成28年4月	早期臨床体験 医薬品情報学 ポスト教育 事前学習 薬学特別講義Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅶ	兼担 助教	古賀 多津子 (52)	平成28年4月	早期臨床体験	(教員審査省略) 担当者の変更(28)
					兼担 准教授	大脇 裕一 (42)	平成31年4月	医薬品情報学 ポスト教育 事前学習 薬学特別講義Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅶ	担当科目の変更
兼担	准教授	廣村 信 (44)	平成29年4月	衛生薬学実習 生命科学Ⅰ 生命科学Ⅱ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅲ					
兼担	准教授	安川 圭司 (40)	平成29年4月	物理系実習 物理化学Ⅲ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅱ					
兼担	講師	井上 裕一 (66)	平成28年4月	基礎生物学	兼任 教授	都築 稔 (42)	平成28年4月	基礎生物学	(教員審査省略) 平成28年3月井上講師辞任のため平成28年4月より担当者の変更(28) 輪講・平成28年度のみ
					兼担 教授	村山 恵子 (59)	平成28年4月	基礎生物学	(教員審査省略) 平成28年3月井上講師辞任のため平成28年4月より担当者の変更(28) 輪講・平成28年度のみ
					専 講師	香川 正太 (37)	平成28年4月	基礎生物学	(教員審査省略) 平成28年3月井上講師辞任のため平成28年4月より担当者の変更(28) 輪講・平成28年度のみ
					兼担 教授	松原 大 (56)	平成28年4月	基礎生物学	(教員審査省略) 平成28年3月井上講師辞任のため平成28年4月より担当者の変更(28) 輪講・平成28年度のみ
					兼担 講師	清水 典史 (41)	平成28年4月	基礎生物学	(教員審査省略) 平成28年3月井上講師辞任のため平成28年4月より担当者の変更(28) 輪講・平成28年度のみ
					兼担 助教	濱村 賢吾 (28)	平成28年4月	基礎生物学	(教員審査省略) 平成28年3月井上講師辞任のため平成28年4月より担当者の変更(28) 輪講・平成28年度のみ
						後任未定			[後任未定]専任教員採用を計画
兼担	講師	清水 典史 (41)	平成28年4月	薬理学実習 機能形態学Ⅰ 機能形態学Ⅱ 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅲ					
兼担	講師	香月 正明 (40)	平成30年4月	調剤学 薬理学実習 ポスト教育 事前学習 薬学特別講義Ⅱ 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅵ 総合薬学特別講義Ⅶ					
兼担	講師	小武家 優子 (46)	平成30年4月	公衆衛生学 薬学特別講義Ⅲ 総合薬学特別講義Ⅳ					
兼担	助教	古賀 多津子 (55)	平成31年4月	ポスト教育 事前学習					
兼担	助教	山元 誉子 (35)	平成29年4月	病態・薬物治療学Ⅴ 基礎実習 薬理学実習 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅴ	兼担 教授	森内 宏志 (54)	平成30年4月	病態・薬物治療学Ⅴ 基礎実習 薬理学実習 薬学特別講義Ⅱ 総合薬学特別講義Ⅴ	(教員審査省略) 平成28年3月山元助教辞任のため平成30年4月より担当者の変更・新規採用(30)
兼担	助教	鯨野 哲 (34)	平成29年4月	化学系実習 基礎実習 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅰ	専 助教	小川 鶴洋 (28)	平成29年4月	化学系実習 基礎実習 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅰ	(教員審査省略) 平成28年3月鯨野助教辞任のため平成29年4月より担当者の変更・新規採用(29)
兼担	助教	高露 恵理子 (32)	平成29年4月	基礎実習 生物系実習 薬学特別講義Ⅰ 総合薬学特別講義Ⅲ					

(2) 専任教員数等

(2)-① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
12	5	4	3	24	4	1	3	0	8	12	6	4	3	25
(3)	(1)	(2)	(0)	(6)						[△8]	[△5]	[△1]	[△3]	[△17]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授 65 その他 60 歳	2 名	11 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）については、やむを得ない状況であると判断し、すみやかに後任補充に対処した。
また、学生への周知については、年度初めのガイダンス時に後任の教員を周知した。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学部 漢方薬学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
漢方薬学科	漢方薬学科 変更なし

- (注)・1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

第一薬科大学ファカルティ・ディベロップメント委員会を設置している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

原則として月1回開催している。

c 委員会の審議事項等

- ・FDに関する研修会及び講習会に関する事項
- ・「学生授業評価アンケート」に関する事項
- ・「教員相互授業参観」に関する事項
- ・「教員による自己評価」に関する事項
- ・「学生と教職員懇談」に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・FD委員会主催講習会
- ・教員相互の授業参観
- ・新任教員のための研修会 等
- ・学生と教職員懇談会の開催

b 実施方法

- ・学内及び外部講師によるFD委員会主催講習会の開催している。
- ・前期及び後期に教員相互の授業参観を実施している。
- ・前期及び後期における「学生授業評価アンケート」を実施している。
- ・前期及び後期に「学生と教職員懇談会」を実施している。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・学年始めに新任教員対象研修を行う。また、平成27年度では9月・10月に外部講師を招いて講習会を開催した。
- ・「学生授業評価アンケート」は前期及び後期の2回、授業終了時を利用し全科目において実施している。
- ・教員相互の授業参観は前期及び後期に実施期間を決め実施している。
- ・「学生と教職員懇談会」は、あらかじめ大学に対する意見を聴取したことに對し回答する形で実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・「学生授業評価アンケート」及び「教員相互授業参観」の結果は、担当教員にフィードバックするとともに、「FD報告書」として全教職員に周知している。